

4. トラブルとその対応事例

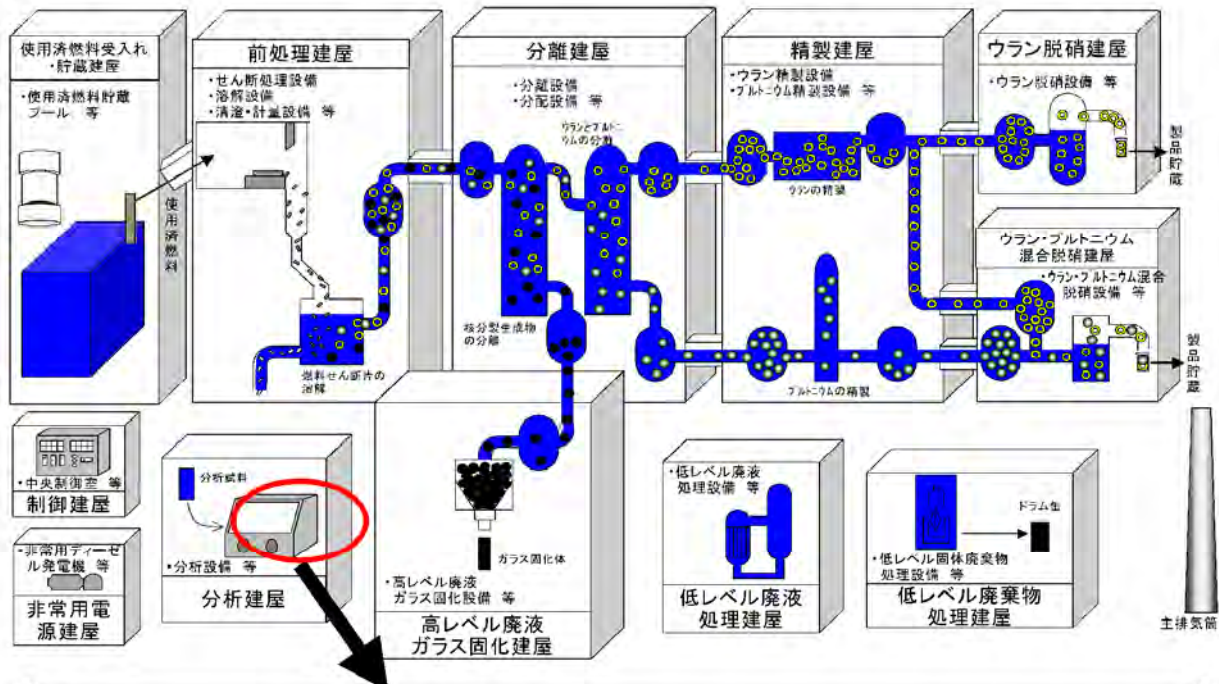
4-1. 発生が想定される軽微なトラブル事例

事象分類別 (f. 汚染)

6-16. 分析操作中のガラス器具等による切傷および汚染																		
事象の概要																		
(1)発生場所：機器		分析建屋：分析設備																
(2)設備の概要		工程中の溶液等の成分を分析する設備。																
(3)発生の状況		分析操作中																
(4)概要		分析試料の分析作業中、ガラス器具が破損し、作業員が指を切り、皮膚汚染が発生。																
(5)原因		分析作業中に偶発的に発生するガラス器具破損による切傷および汚染。																
事象による影響																		
(1)工場外への影響		工場外への影響は生じない。 放射性物質を除去するフィルタ等を有する分析建屋の建屋換気設備が稼働している室内での事象およびそれに伴う復旧作業のため、放射性物質放出等の工場外への影響は生じない。																
(2)安全性への影響		安全上の問題は生じない。 作業員の汚染であるため、これ以上事象の進展はなく、安全上の問題は生じない。																
(3)作業員への影響		作業員の負傷および汚染が発生。 定められた手順に従い、直ちに汚染除去を行う。その後、医療機関へ搬送することにより適切な医療措置を行う。																
(4)他工程への影響		他工程への影響は生じない。 他の分析ボックス等で必要な分析が続行出来ることから、他工程への影響は生じない。																
対応の概要		1.定められた手順に従って身体の汚染を除去するとともに、放射性物質の体内への取り込みがないことを確認する。 2.医療機関へ搬送し、適切な医療措置を行う。 3.汚染した区域がある場合、定められた手順に従い除染する。 4.グローブの交換を行い、健全性を確認してグローブボックスでの作業を再開する。																
公表区分		休祭日を問わず速やかに公表（夜間の場合は翌朝）（プレス公表）																
連絡区分*		<table><tr><th colspan="3">トラブル情報</th><th colspan="3">運転情報</th></tr><tr><td>A 情報</td><td>B 情報</td><td>C 情報</td><td>ごく軽度な機器故障</td><td>清掃・調整等で復旧可能な機器停止等</td><td>不適合等</td></tr></table>					トラブル情報			運転情報			A 情報	B 情報	C 情報	ごく軽度な機器故障	清掃・調整等で復旧可能な機器停止等	不適合等
トラブル情報			運転情報															
A 情報	B 情報	C 情報	ごく軽度な機器故障	清掃・調整等で復旧可能な機器停止等	不適合等													

*：『A情報』：安全協定報告事象等、または、それに準ずる事象、『B情報』：事象の進展または状況の変化によっては、安全協定報告対象になるおそれのある事象等、『C情報』：A、B情報に該当しない軽度な不具合、汚染等、特に連絡を要する事象

事象概要



復旧方法

当該作業員の被ばく評価を行うとともに、必要に応じて医療措置および身体並びに作業区域を除染

トラブル等に伴う設備への影響範囲

運転設備に影響なし

